

記入例

農業経営改善計画認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

庄原市長 様

申請者

フリガナ 住所・所在地 シヨウバラシ ナカホンマチ 1チヨウメ 庄原市中本町一丁目10番1号

フリガナ 氏名・名称 ウギョウ タロウ 農業 太郎 印

農業法人の場合は、法人名と代表者氏名を書き、法人の設立年月日も必ず記入する。

フリガナ ※代表者

生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生(〇〇歳)

※<法人設立日 年 月 日設立>

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

共同申請者

フリガナ 住所

夫婦・親子共同の場合は氏名・生年月日を連記する。この場合は、別に家族経営協定が必要。

フリガナ 氏名 印

生年月日 年 月 日生(歳)

農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

なお、本計画の内容を含め、申請者の情報を庄原市、広島県、株式会社日本政策金融公庫、独立行政法人農業者年金基金などの関係機関等において共有されることに同意します。

申請種別 新規認定申請 ・ 再認定申請

前回認定番号 〇〇-〇〇号

前回当初認定日 平成〇〇年〇〇月〇〇日

個人の場合 (男) ・ 女

法人の場合 農事組合法人 ・ 株式会社 ・ その他()

農業経営改善計画

①目標とする営農類型	施設野菜＋水稲＋繁殖和牛											
②経営改善の方向の概要	<p>・これまで家族を中心とした施設野菜や水稲及び繁殖和牛経営を行ってきた。</p> <p>・今後は消費者ニーズに対応した野菜を安定的・継続的に生産していくための経営改善に取り組み、省力化と所得の確保を図る。</p> <p>・年間労働時間を短縮し、ゆとりある生活を実現したい。</p> <p>(年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状</th> <th>目標(H32年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間農業所得</td> <td>3,000 千円</td> <td>5,720 千円</td> </tr> <tr> <td>年間労働時間</td> <td>2,400 時間</td> <td>2,000 時間</td> </tr> </tbody> </table>				現状	目標(H32年)	年間農業所得	3,000 千円	5,720 千円	年間労働時間	2,400 時間	2,000 時間
	現状	目標(H32年)										
年間農業所得	3,000 千円	5,720 千円										
年間労働時間	2,400 時間	2,000 時間										

※農業経営の現状として、専業・兼業の別、主要作目の生産状況等(必要に応じ現在の経営に至るまでの発展経緯について)を記載する。

※目標とする営農類型へ向けた経営改善の方策について、達成の結果として見込まれる主要作目の規模、生産見込み等を記載する。

③農業経営の規模の拡大に関する目標	作物・部門名	現状		目標(H32年)	
		作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量
	施設ほうれんそう	20a×5回転 (延べ100a)	7,500 kg	25a×6回転 (延べ150a)	12,000 kg
	水稲(コシヒカリ)	400 a	20,400 kg	500 a	25,500 kg
	飼料(イタアンライグラス)	50 a	5,000 kg	50 a	5,000 kg
	繁殖牛	8 頭	5 頭	10 頭	7 頭
	経営面積合計	550 a	—	700 a	—

・面積の記載について、台帳面積ではなく作付け面積を記載する。(水張り面積、ハウス面積など)

・年間を通じて複数回作付けをする作物については、1回分の作付け面積と作付け回数を記載する。(延べ面積を併記する。) 例) 50a×3回転 (延べ150a)など

・年間を通じて複数回作付けをする作物については、1回分の面積を経営面積合計欄に集計する。

・生産量の合計欄は記載しないでください。

・作付面積の拡大、反収のアップによる生産量の拡大や作目の変更等を記載する。

・目標値は5年後の所得が450万円以上になるよう計画する。

③ 農業経営の規模の拡大に関する目標	区分	地目	所在地 (市町村名)	現状(H27年)		目標(H32年)	
	所有地	<ul style="list-style-type: none"> ・所有地・借入地の面積は台帳面積を記載する。 ・実際に耕作している耕地面積を記入する。(貸付地は書かない) 					a
	借入地	田	庄原市	a		a	
	特定作業受託	作目	作業	現状(年)		目標(年)	
				作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
	特定作業受託とは、生産物の販売名義、販売収の処分権が受託者であり、当事者間で契約書を交わした農地を言う。						
	作業受託	作物	作業	現状(年)		目標(年)	
				耕起	a	a	
				田植	a	a	
				水稲	「特定作業受託」欄に記載した作業受託以外の作業受託は、作物別に基幹作業別に(例:耕起代かき、田植、収穫)作業受託面積を記入する。換算後の欄においては、(作業受託面積÷作業数)により換算した面積を記入する。		
換算後				a	a		
農畜産物の加工・販売その他の関連・付帯事業	事業名	内容	現状(年)		目標(年)		
④ 生産方式の合理化に関する目標	機械・施設	機械・施設名		型式、性能、規模等及びその台数			
				現状(H27年)		目標(H32年)	
		トラクター		25ps 1台		25ps 1台、43ps 1台(H27新規)	
		田植機		4条 1台		6条 1台(H30更新)	
		コンバイン		3条刈 1台		4条刈 1台(H29更新)	
		軽トラック		1台		1台	
		乾燥機		30石 1台		30石 1台	
		畜舎		80㎡ 1棟		80㎡ 1棟	
		堆肥舎		40㎡ 1棟		50㎡ 1棟(H28増築)	
		ハウス		6m×50m 2棟		6m×50m 2棟	
<ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物を原料又は材料として使用して行う製造又は加工 ・農畜産物の貯蔵、運搬又は販売 ・農業生産に必要な資材の製造等について記入する。 ・購入機械等について 導入年度および、新規・更新を記載する。 例) トラクター28ps(H27 新規) トラクター58ps(H28 更新) 							
利農用条地件の	現状(H27年)			目標(H32年)			
	20a~30a区画中心			隣地を借入れ農地の集約化を図り、作業効率の向上を図る。			

④	作目・部門の合理化	作目・部門名	現状(27年)	目標(32年)
		施設野菜	2,000㎡のハウスで、ほうれんそうを栽培	ハウスを拡大し所得の向上を図る。
		水稲	育苗は手灌水	自動灌水で省力化し、経営と家計を明確に分離する。
		繁殖牛	高齢牛までの飼育	更新を早め、若齢化をはかる。

③の作目・部門ごとに品種構成、作付体系、飼養管理の方法等を生産方式の合理化について記入する。

⑤経営管理の合理化に関する目標	現状(27年)	目標(32年)
	青色申告をしているが税理士任せで十分に経営状況を把握していない。	自ら複式農業簿記を記帳し、経営と家計を明確に分離する。

簿記記帳、経営内役割分担、経営形態の近代化(法人化)などを記入する。

⑥農業従事の態様等の改善に関する目標	現状(27年)	目標(32年)
	特に休日を定めていない。	臨時雇用を導入し、休日制の実施。

休日制の導入、臨時雇用の活用による労働負担軽減等について記入する。
家族経営協定を締結している場合には、その旨と協定に基づく家族間の役割

⑦目標を達成するべき措置	経営改善の目標	措置
	規模拡大と農地集積生産方式の合理化 経営管理の合理化 農業従事態様の改善 制度資金の活用	<ul style="list-style-type: none"> 農地集積支援関係の事業等を活用し規模の拡大と農地の集積をする。 規模拡大に伴って育苗ハウスを拡大し、自動灌水施設を導入して省力化を図る。 複式農業簿記講習会に参加して記帳能力を習得する。 家族経営協定を締結し、休日制や月給制を導入する。 機械・施設等の整備に当たっては、各種補助事業や農業制度資金を活用する。

②から⑥までの目標を達成するための具体的な方策について、本認定制度の活用も踏まえて記載する。
農業改良資金等の制度資金を利用する場合は予定年度、予定資金、資産及び負債の現状、資金需要額等を記載する。

(参考)経営の構成	氏名 (法人経営にあっては役員の氏名)	年齢	代表者との続柄(法人経営にあっては役職)	現状	目標	
				担当業務	年間農業従事日数(日)	年間農業従事日数(日)
	農業 太郎	50		農作業	300	農作業 250
	農業 花子	50		農作業・事務	300	農作業・事務 250
	農業 一朗				0	農作業 200

目安⇒8時間を1日とする。

・現在農業に従事しており、5年後には作業から離れている予定の従事者や5年以内に就農予定の者も記入する。
・農事組合法人の場合、農業生産法人としての要件を満たしていること。
①農業の常時従事者(原則年間150日以上)である構成員が役員全体の過半
②農作業に従事(原則年間60日以上)する役員が①の過半(役員全体の過半の過半)

雇用者	常時雇(年間)	実人数	現状	0人	見通し	0人
	臨時雇(年間)	実人数	現状	0人	見通し	1人
		延べ人数	現状	0人	見通し	20人

(参考)他市町村の認定状況	認定市町村名	認定年月日	備考

(付表1)
経営の概要
(現状H27年実績)

作物名 (品種等)	生産規模 (延べ面積 常時飼養頭数)	総生産量 (kg・頭)	農業収入 (千円) [①]	生産経費 (本人以外の人件費を含む) (千円) [②]	農業所得 (千円) [③=①-②]	所得率 (%) [③/④]	労働時間 (h)
ほうれんそう	20a×5回転 (延べ100a)	7,500 kg	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
水稲(コシヒカリ)	400 a	20,400 kg	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	2,400
飼料(イタアンライグラス)	50 a	5,000 kg	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
繁殖牛	8 頭	5 頭	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
					④ 3,000	—	2,400
<p>・面積の記載について、台帳面積ではなく作付け面積を記載する。 (水張り面積、ハウス面積など)</p> <p>・年間を通じて複数回作付けをする作物については、1回分の作付け面積と作付け回数を記載する。(延べ面積を併記する。) 例) 50a×3回転 (延べ150a)など</p>				<p>家畜飼養頭数</p> <p>乳用牛 頭</p> <p>肉用牛 8 頭</p> <p>その他</p>			
⑤	専従者給与 地域還元額	— 千円			家族・構成員労働力 雇用(延べ)	2 人 0 人	
[⑥=④+⑤]		年間農業所得	3,000 千円				

(最終年次H32年)

作物名 (品種等)	生産規模 (延べ面積 常時飼養頭数)	総生産量 (kg・頭)	農業収入 (千円) [①]	生産経費 (本人以外の人件費を含む) (千円) [②]	農業所得 (千円) [③=①-②]	所得率 (%) [③/④]	労働時間 (h)
ほうれんそう	25a×6回転 (延べ150a)	12,000 kg	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
水稲(コシヒカリ)	500 a	25,500 kg	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	2,000
飼料(イタアンライグラス)	50 a	5,000 kg	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
繁殖牛	10 頭	7 頭	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
					④ 5,000	—	2,000
				<p>家畜飼養頭数</p> <p>乳用牛 頭</p> <p>肉用牛 10 頭</p> <p>その他</p>			
				<p>労働力</p> <p>家族・構成員労働力 3 人</p> <p>雇用(延べ) 20 人</p>			
⑤	専従者給与 地域還元額	720 千円					
[⑥=④+⑤]		年間農業所得	5,720 千円				

※法人のみ地域還元額を記載可。(地域還元額＝人件費＋支払地代＋支払委託料＋支払賃借料(集落に係る費用))

(付表2)

(1)家畜飼養計画

区分		H27年 (当初)	H28年 (初年次)	H29年 (2年次)	H30年 (3年次)	H31年 (4年次)	H32年 (最終年次)
飼育頭数	期首頭数	8	8	8	9	9	10
	導入頭数	0	0	0	0	0	0
	自家保留頭数	0	0	1	0	1	0
	廃用牛頭数	0	0	0	0	0	0
	期末頭数	8	8	9	9	10	10
販売頭数	廃用牛	0	0	0	0	0	0
	子牛	5	5	5	6	6	7
	肥育牛	0	0	0	0	0	0

(2)飼料生産計画

現状(H27年)				目標(H32年)			
作物名	栽培面積	収穫量	備考	作物名	栽培面積	収穫量	備考
イタリアンライグラス	50a	5,000kg		イタリアンライグラス	50a	5,000kg	
合計	50a	5,000kg		合計	50a	5,000kg	

3)事業計画の概要

年次	H27年度 (当初)	H28年度 (初年次)	H29年度 (2年次)	H30年度 (3年次)	H31年度 (4年次)	H32年度 (最終年次)
事業計画の概要	トラクター43ps (5,000千円)	堆肥舎増築 (2,000千円)	コンバイン4条 (5,000千円)	田植機6条 (3,000千円)		
	<p>購入機械等について 機械設備名および概算事業費を記載する。(事業活用が有る場合は、簡単に明記する) 例) トラクター28ps(1,500千円 補助活用) トラクター58ps(リース事業)</p>					

※規模、概算事業費も記入